

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	HOPE RISE					公表日	2026年2月12日			
						利用児童数	8名	回収数	6名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0		目的ごとに部屋を区切って使用しており、十分なスペースは確保できるよう配慮しています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	3	0	0	足りないと感じることも	人員配置は法令遵守しているが、様々な特性をお持ちのお子さまがご利用することを考慮し、優秀な人材を確保していきたいと思えます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	1		別室も既に状況に合わせて使用しているが、様々な状況を加味し更に活かしていきたいよう考案していく		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4	1	0	1	今後利用人数が増えたときに少し狭いかなと感じる	日々の整理整頓、清楚を心掛け、過ごしやすい環境づくりを行っています。		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		個々の特性を踏まえ、研修参加、ミーティングを適宜行い専門性を高める努力を今後もしていきます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	1		プログラムを踏まえ、今何が出来るか、どうしたらより適切に支援できるかを研鑽していきます。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		保護者様のニーズに寄り添い、お子さまに必要な支援をよりリアルに支援計画に取り入れていきます。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		保護者様をはじめお子さまのニーズに合った内容を支援しています。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		放課後等デイサービス計画に沿った支援内容を行っています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1		固定して継続していく内容のプログラムは保持しつつ、毎月新しいプログラムをスタッフ間で話し合い取り入れていきます。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	1	4		今後の課題です。		
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		ご契約時にご説明していますが、質問がある場合はいつでもお応えできるよう努めています。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		今後も変更時には保護者様へのご説明を行っています。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	3	2		今後の課題です。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		送迎時には支援にかかわったスタッフが必ず、当日の様子や健康面など伝えさせてもらい、保護者様からは情報の提供をいただいています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	1		今後も困りごとがあった時や、状況に合わせて行っていきます。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1	0	0		自分事ととらえ、かつ俯瞰してとらえられるよう、私たちに何が出来るか常に意識を高く持ち続けます。		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	2	2		今後の課題です。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		今後も困った時には相談しやすい環境、体制を整え、即対応できるよう努めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		お子さまとは、日々の支援を通しコミュニケーションを大切にしています。保護者様にはLINEを使用し情報の伝達、共有を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	0	0	2		毎月の保護者様へのおたよりを通して、行事予定や連絡事項をお伝えし、またLINEも使用しています。自己評価はHPにて公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	1		個人情報の取り扱いには十分に配慮し、スタッフには定期的に周知徹底しています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	2		定期的に研修を実施し、活動にも取り入れ、お子さまを交えた周知活動を日ごろから心掛けるよう体制を整えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	0	1		定期的に研修を施し、活動にも取り入れ、お子さまを交えた周知活動を日ごろから心掛けるよう体制を整えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		契約時にもご説明し、随時お子さまの安全を第一に踏まえ支援に携わっています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1	0	0		小さな出来事でも状況をご報告し、安心してご利用いただけるよう努めています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		今後も安心して通所いただけるよう環境を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	2	0	0		事業所の雰囲気づくりを更に整え、楽しんで通所していただけるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		常に俯瞰してとらえられるよう、体制を整えレベルアップをはかります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		HOPE RISE		公表日		2026年2月12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	目的により使い分けている。 クールダウンできる環境を確保している。支援室は広々としており、のびのびと過ごすことが出来る。	広いゆえに音の反響が大きく、騒がしくなることもある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	困り行動があるお子さまがご利用の日は増員して対応している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	絵カードを使用して意思疎通をはかったり、トイレなど生活上必要な空間は目視で確認できるように表示されている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	クールダウンに使用したり、個別課題に取り組んだり、目的に合わせて使用できる環境がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2			今回が初めてのアンケートなので、今後設けていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	定期的の問題点を洗い出し、改善につなげている。 記録を残している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			立ち上がったばかりで外部評価までには至っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	積極的に外部の研修や事業所内でも動画を観るなど参加している。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	ケース会議を開催し振り返りやご利用時の様子など意見を出し合い作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	標準化されたものを使用し、行動観察には注意深く記録をとっている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	皆で意見を出し合っている。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	新しいプログラムを取り入れるようにしている。振り返りも欠かさないようにしている。	特性に個人差があり、皆同じものに参加するには無理がある場合もあり、グループを分けて取り組みたいが、なかなか上手くいかない面もある。計画をもっと詳細にする必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個々の特性に極力沿って活動等計画し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	おおむね出来ている。	もっと連携を各々で確認しておきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	4	0	行っている。	しっかりと気づきを職員の差が出ないように支援に反映していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	徹底している。	時に詳細に残そうと文が長くなり、時間がかかりすぎるので、簡潔にポイントを絞る必要を感じているので、実行中。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	自己決定力を身に着けることを大切に感じ、ちょっとした場面でも自分で選択できるよう取り組んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	送迎の度に子供さんの学校での様子や出来事、行事の際の送迎時間の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	ご利用開始時に行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	まだ卒業されたご利用者はいないので経験がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	連携は取れていると思うが、研修までは行けたことはない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4		今後活動に取り入れてみたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2	家庭での対応方法など相談はしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	ご契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	子どもさんに確認するまでは出来ないことも多いが尊重している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	今はSNSを使用し発信している。	HPでも取り組んでいきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	子どもさんとはカードや写真を使って行っている。	今後更に充実させていきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	会議や研修に参加している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	避難訓練など活動に取り入れている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	2	危険は回避するよう配慮している。	共有を更にしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	計画書に記載し、契約時にもご説明している。		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	HOPE RISE		
○保護者評価実施期間	2026年1月16日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月11日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	困り行動などお子さんの表情や行動など様子を直ぐに察知し、対処できるよう努めている。また環境も日々対策を練り、改善に努めている。	来所した際の表情や学校での様子、送迎車の様子など、即職員間で周知し連携がとれている。	職員が皆同じような対応が出来るようにする。
2	クールダウンできる個室があり、気持ちの切り替えに使用できる。	一緒に職員が個室に入るかは状況によって判断しているが、自発的に落ち着いたら声掛けしてもらおうか、活動は必ず参加できるよう前後のことも考えて支援室に戻るようになっている。	
3	遊びとは別の個別課題を取り組むための部屋があり、環境が整っている。	集中出来るよう、遊びの部屋とは別にし、落ち着いて取り組めるようになっている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	オープンして間もないため、考えはあっても取り組めていないこともある。	職員の共通認識とレベルアップ。	ミーティングや研修を増やす。
2	個別課題を行うための支援グッズが足りていない。	必要なものを検証し、作成したいが時間が足りない。	nenndo
3	事務室や児童発達支援室が2階にあり離れている。		職員の人数が必要。